

科目名 学術論文作成法(一) (2単位)

担当者氏名 丹羽 光一、戸枝 一喜

◆学習・教育目標

研究者や技術者は、研究成果を学術雑誌に発表したり、学会やシンポジウムで発表や講演することが必要不可欠である。国内だけではなく、海外の雑誌・学会での発表が強く要求されている。本講義では、まず学術論文に必要な簡潔で明快な文章を作成できるようになるため、基本的かつ実践的な日本語の文法について講義する。また英語の論文の読解と作成に慣れ、事実を客観的に他者に伝える能力を身につけるため、英語論文を題材として読解と発表を行ってもらう。

◆取り扱う領域（キーワードで記載）

文法

学術論文の構成

論文の作成

◆授業の進行等について（単位制度に基づく授業の進行予定・内容）

回数	テーマ	内容	授業のねらいまたは準備しておく事項
1～5回	学術論文と文法	明快で簡潔な文章を書くための日本語の文法、とくに修飾する語とされる語の関係について解説する。	学術論文と日常で使う文章との違いを理解し、義務教育では教えられなかった実践的な文章作成技術を学ぶ。
6～8回	学術論文の構成	実際の論文を紹介しながら学術的な論文の構成を学ぶ。	学術論文がどのような流れで構成されるかを理解する。
9～11回	英語論文の読解	食品科学分野の英語論文を読み、内容を理解するとともにわかりやすい図や表の作り方を考える。	英語論文に慣れる。
12～15回	学術論文の作成	食品科学分野の論文内容を著者になったつもりで発表する。	客観的な事実を簡潔に他者に伝える力をつける。

◆教科書及び資料（授業前に読んでおくべき本・資料）

書名／著者／発行所（発行年）

プリントを配布

◆授業をより良く理解するのに便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所（発行年）

日本語の作文技術/本田勝一/朝日文庫(1982) ポイントで学ぶ科学英語論文の書き方/小野義正/丸善(2001)

◆評価の方法（レポート・小テスト・定期試験・課題等のウェイト）

出席を50%、発表と討論を50%として評価する。

◆その他受講上の注意事項
